

水素エネルギー社会に产学研官連携

福岡水素エネルギー戦略会議



ホンダの燃料電池車



トヨタ自動車の燃料電池車

社会実証では家庭用燃料電池150台を集中的に設置して調査分析する「福岡水素タウン」を開いている。場所は糸島市、南風台地と美咲が丘団地。LPガスを燃料とする燃料電池を設置して省エネ効果などを検証を実施した。

「水素タウン」で検証

福岡県は、次世代エネルギーとして期待される水素エネルギーの产业化に力を入れている。県と共同で関連事業を開拓しているのは、2004年に発足した「福岡水素エネルギー戦略会議」。水素エネルギーに関する国内最大の产学研官組織で、全国約700の企業・機関を会員とする。会議は、「福岡水素戦略(HY Life Project)」に基づいて水素の製造から輸送、貯蔵、利用までの研究開発や社会実証、人材育成に取り組んでいる。



戦略会議は内外への情報発信を積極的に行い、国際的評価を高めている。学術的発表に限らず、一般的な情報発信を燃料電池車(FCV)の試乗会、講演会、展示会などを行っている。

14年1月には「水素先端科学研究会議」が開催された。九州大学、欧州の専門家と研究開発や産業動向について情報交換した。

福岡の拠点性アピールする目的で、同大にフォーラムは、九州大学の研究成果を発表する。

開拓する目的で、水素エネルギーに関する情報交換する。

ホンダの燃料電池車

国際的評価 高まる

研究成果を世界に発信

戦略会議は内外への情報発信を積極的に行い、国際的評価を高めている。学術的発表に限らず、一般的な情報発信を燃料電池車(FCV)の試乗会、講演会、展示会などを行っている。

14年1月には「水素先端科学研究会議」が開催された。九州大学、欧州の専門家と研究開拓する目的で、水素エネルギーに関する情報交換した。

ホンダの燃料電池車

開拓する目的で、水素エネルギーに関する情報交換する。

ホンダの燃料電池車

開拓する目的で、水素エネルギーに関する情報交換する。